

市町村名		金武町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	プロスポーツ受入事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア			
担当部署名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本町に整備された金武町ベースボールスタジアムや金武町フットボールセンター等を活用し、プロスポーツチームや社会人チームのキャンプ等の受入れを実施している。長期の受入れを目指すため、競技環境の整備や受入れ体制の強化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	6,998	43,777	43,305	51,793	47,174
	(b) 予算現額	6,365	42,460	43,208	51,793	46,126	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 633	▲ 1,317	▲ 97	0	▲ 1,048	
	(d) 繰越額	—					
	A. 計(b+d)	6,365	42,460	43,208	51,793	46,126	
	B. 執行済額	6,365	42,460	42,611	43,014	46,126	
	うち交付金充当額	5,092	33,968	34,088	34,410	36,900	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	98.6%	83.0%	100.0%	
予算の状況の説明	プロチームを受入れるために必要な芝管理や黒土の補充によるグラウンド整備等の競技環境の整備、会場の清掃、テント等の設置などの受入体制の強化を図った。また、不足する諸室を補うためのプレハブを設置した。令和2年度はコロナウイルスの影響により無観客での実施となったため、警備業務委託を行わなかったため減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	競技環境の整備	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	
		実績	5チーム	5チーム	5チーム	4チーム	
	プロスポーツ受入の実施	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	
		実績	5チーム	5チーム	5チーム	4チーム	
	見学者受入体制の整備	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	
		実績	5チーム	5チーム	5チーム	4チーム	
	プロスポーツキャンプ受入体制の構築	目標	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	(4チーム)	
		実績	5チーム	5チーム	5チーム	4チーム	
スポーツ教室の開催	目標	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)		
	実績	4回	4回	4回	0回		
達成状況説明	競技環境の整備や受入体制を強化することで、継続した3チームを受入れることができた。競技環境の良好さもあり、サッカーでさらに1チームを受入れることができたほか、例年以上に継続チームのキャンプ実施期間が延長された。スポーツ教室については、コロナウイルスの影響により実施できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標	()	()	()	(5チーム)	()
	実績				4チーム		
	【参考指標】 H30年度プロチーム4チームの受入	目標	()	()	(4チーム)	()	()
		実績			5チーム		
進捗状況説明	受入目標を5チームとしているが、平成29年度からの継続3チームに加え、以前に実施実績のあるチームを加えた4チームの受入となった。目標数には届かなかったが、受入チームの定着化に伴い、キャンプ実施期間も延びてきていることから、4チームの受入態勢が適当であると考えられる。令和2年度については、コロナウイルスの影響により様々な大会等が中止になったが、年間を通して環境整備を図ることで、継続的なキャンプの実施や、期間延長が見られるなど、事業の効果が得られていると考える。						

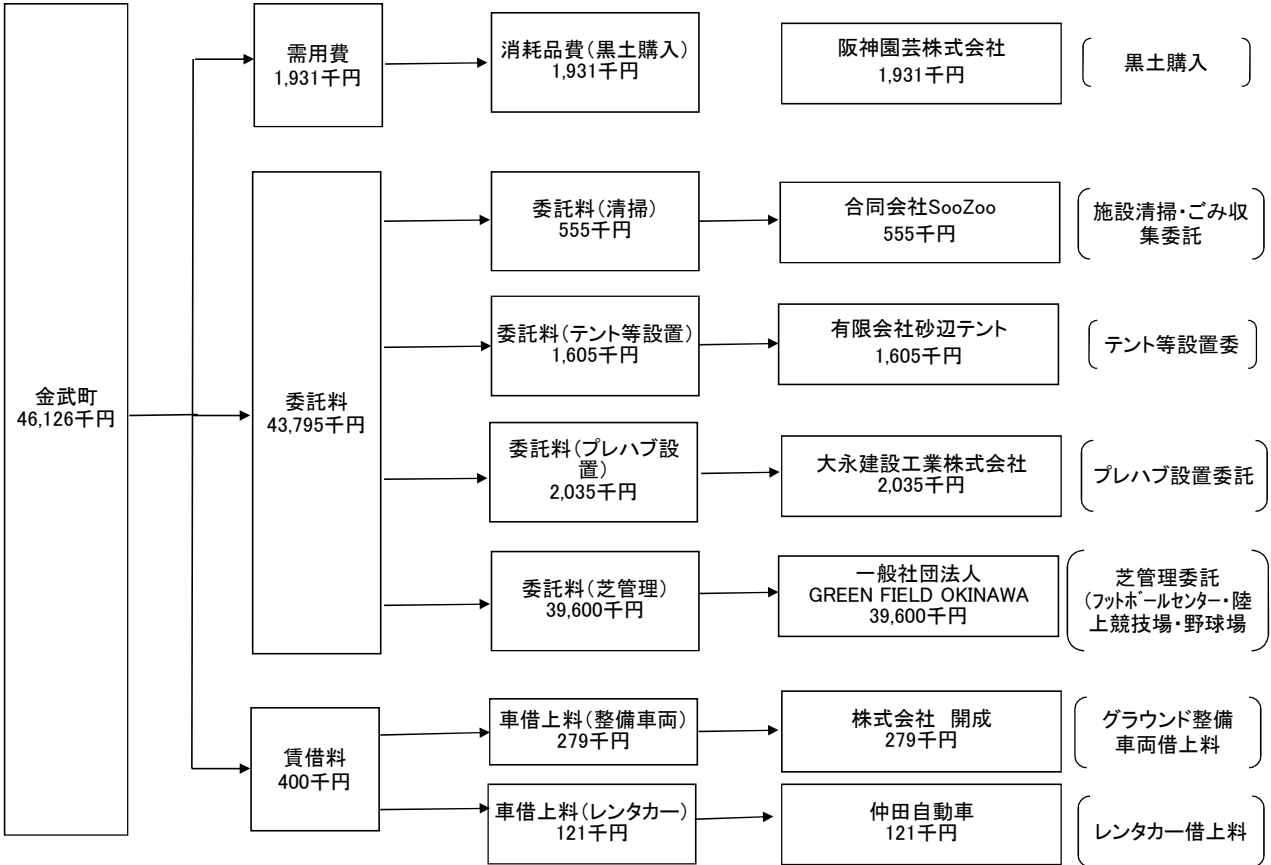
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	近年、受入チームの定着化が徐々に図られていると感じているところである。コロナウイルスの影響により、キャンプ実施の可否がギリギリになるまで決定せず、結果として無観客で行われた。今後のキャンプの在り方について変化を伴う可能性が生じた。	コロナ禍においても引き続きキャンプを受入れることができるよう、安心・安全な環境をPRするとともに、有観客への対応が可能なように最善の準備に努めなければならない。

今後の取り組み方針

これまで実施してきたグラウンド整備や環境づくりのほか、手指消毒や除菌、ゾーニングを徹底して行うことで選手の安全を確保し、また、有観客に備え、密にならない環境づくりを進めることで、継続したキャンプを実施できるよう取り組む。受入チームの定着化に伴い、徐々に期間が延長されることも視野に入れ、長期間のキャンプとなった場合にも、選手の控室などを確保するため、プレハブ等の増設も検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
46,126	46,126	36,900	9,226	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約で契約したが、金武町財務規則に基づいて契約締結しており、選定方法は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○グラウンド状況により実施しなかった業務があったものの、通常であれば実施するものであり、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② 金武町観光振興等推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-ア		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	令和元～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開 Ⅲ-1	
事業内容	観光誘客及び観光客の利便性の向上を図るため、誘客プロモーションや観光案内・誘導サインを整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額				46,622	53,465
	(b) 予算現額				36,317	59,688	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 10,305	6,223	
	(d) 繰越額	—					
	A. 計(b+d)	0	0	0	36,317	59,688	
	B. 執行済額				37,439	59,688	
	うち交付金充当額				26,708	47,750	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	103.1%	100.0%	
予算の状況の説明	コロナウイルスの影響による地域活性化イベントや物産展の未開催となった。また、実施できたイベントにおいてもコロナウイルスの状況により規模を縮小するなどして実施したための減額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	地域活性化イベント来場者数	目標	()	()	(6,547人)	(1,586人)	
		実績			7,804人	499	
	観光物産PRブース来場者数	目標	()	()	(3,364人)	(1,972人)	
		実績			2,893人	1,509	
	観光ポータルサイト閲覧件数	目標	()	()	()	(116,287件)	
		実績				66,168	
	達成状況説明	地域活性化イベントについては、コロナウイルスの影響で大幅な減少となった。観光物産PRブースについても開催数の減少などにより、昨年度比大幅減となっている。観光ポータルサイトの閲覧についても、事業者の休業やコロナ禍において積極的な誘客等ができず、減少した。 今後、本町の豊かな自然環境を活かしたアクティビティや充実した体育施設、医療施設、温泉施設等が一体となった観光メニュー等について、関連団体と調整予定となっている。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
地域活性化イベント来場者数		目標	()	()	(6,547人)	(1,586人)	()
		実績			7,804人	499	
観光物産PRブース来場者数		目標	()	()	(3,364人)	(1,972人)	()
		実績			2,893人	1,509	
観光ポータルサイト閲覧件数		目標	()	()	()	(116,287件)	()
		実績				66,168	
進捗状況説明		地域活性化イベントについては、コロナウイルスの影響で大幅な減少となった。観光物産PRブースについても開催数の減少などにより、昨年度比大幅減となっている。観光ポータルサイトの閲覧についても、事業者の休業やコロナ禍において積極的な誘客等ができず、減少した。					

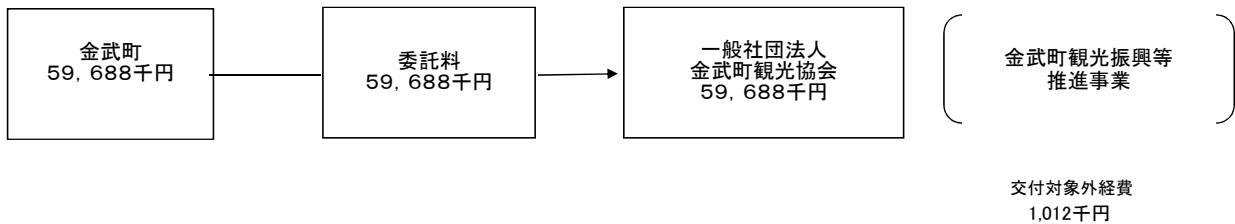
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>コロナウイルスの影響により、地域活性化イベントや観光物産PR事業が軒並み中止となり、観光関連事業が大きな産業となっている本県にとって大きな影響を受けた。今後の観光や町のPRの在り方について変化を伴う可能性が生じた。</p>	<p>旅前を意識した観光の情報発信の方法や、コロナ禍でのイベント等の在り方について検討を要する。</p>

今後の取り組み方針

メディアやインターネット等を活用した情報発信を強化するとともに、Eコマース等の流通の仕組・体制づくり、Withコロナを見越した内容を重視した地域活性化イベントの実施方法などの構築に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
60,700	59,688	47,750	11,938	1,012



資金の用途の点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者選定は、地方自治法施行令第167条の2第1号に基づき随意契約を交わしており、妥当であったと考えている。</p> <p>○コロナウイルスの影響で実施できなかった事業もあるが、通常であれば実施するものであり、予算規模は適正であったと考える。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	パークゴルフ場整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成28~令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本町の魅力ある観光資源を活用して多くの誘客を目指すとともに観光関連の新たなアクティビティと地域間交流の場の創出を目的に金武町パークゴルフ場利用者の利便性向上を図るため、駐車場を整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		171,115		190,842	5,643
		(b) 予算現額		105,702		190,842	5,918
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 65,413	0	0	275
		(d) 繰越額	98,938		66,929		
		A. 計(b+d)	98,938	105,702	66,929	190,842	5,918
		B. 執行済額	96,519	44,988	65,227	188,614	5,918
		うち交付金充当額	77,215	25,990	46,159	129,408	4,734
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	97.6%	42.6%	97.5%	98.8%	100.0%
予算の状況の説明	○平成29年度に実施設計を完了した。 ○平成30年度にパークゴルフ場の造成工事(1工区、2工区)ともに完了した。 ○平成30年度(繰越)にパークゴルフ場整備工事(土工、法面工、排水工、植栽工)が完了した。 ○令和元年度に建築工事が完了した。 ○令和2年度に駐車場整備工事が完了した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	
	造成工事の実施	目標	(造成工事の実施)	()	()	()	
		実績	造成工事の完了				
	建築工事の実施	目標	()	(整備工事の実施)	(建築工事の実施)	()	
		実績		整備工事の完了	建築工事の完了		
駐車場整備工事の実施 駐車可能台数:33台	目標	()	()	()	(駐車場工事の実施)		
	実績				駐車場工事の完了		
達成説明	平成29年度に造成工事、平成30年度に整備工事(一部)、令和元年度に30年度繰越事業及び建築工事、令和2年度に駐車場整備工事が完了し、南側エリアに23台、北側エリアに10台の計33台の駐車場が完成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度(繰越)	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	建築工事の実施	目標	()	(整備工事の実施)	(建築工事の実施)	()	()
		実績		整備工事の完了	建築工事の完了		
	駐車場整備工事の実施 駐車可能台数:33台	目標	()	()	()	(駐車場工事の完了)	()
		実績				駐車場工事の完了	
	【R3成果目標】 観光客の年間利用者数:15,046人 町民の年間利用者数:8,102人	目標	()	()	()	()	(23,148)
実績							
進捗説明	コロナウイルスに伴う休業等により当初の想定よりも利用者数が伸びなかった。						

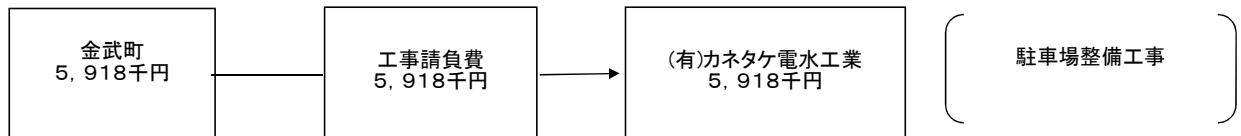
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設の完成により町外、県外からの入域観光客への新たな観光資源としての機能を果たすことが期待されるが、コロナウイルスの影響により想定よりも利用者が伸びなかった。	他の施設と連携し、町内周遊の一部として組み込むことで、利用者増に努める。

今後の取り組み方針

インターネットやメディア等を活用した宣伝、告知用チラシ等により情報発信に努めるとともに、屋外で密にならないアクティビティとしての発信を行うことでコロナ禍においても選ばれる施設を目指す。また、老人会やパークゴルフ愛好者等の各種団体への呼びかけや徒歩圏内の温泉施設や体育施設、キャンプ等が可能なネイチャーみらい館などの他施設と連携し、1日を通して本町で過ごせる観光・アクティビティのメニューの中に本施設の利用を組み込むなど、利用者増に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,918	5,918	4,734	1,184	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は、指名競争入札による契約を交わしており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は適正であったと考える。 ○費目、用途については額の確定時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ 水辺をつなぐ遊歩景観推進事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部署名	建設課 建設第2係	事業実施 (予定)年度	令和2~3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客受け入れ態勢の整備		
事業内容	金武町の観光名所である大川の湧水を活用した大川児童公園と湧水の流末に位置する親水広場との遊歩道を整備し、施設間の一体化、機能強化を図り、観光振興に寄与することを目的とする。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額					5,236
		(b)予算現額					5,060
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	▲176
		(d)繰越額					0
	A. 計(b+d)		0	0	0	0	5,060
	B. 執行済額						5,060
	うち交付金充当額						4,048
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		176千円の減額は入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	実施設計業務の完了		目標 () () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	
			実績			設計業務の完了	
			目標 () () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	
			実績				
達成状況説明	測量業務 歩道詳細設計業務(大川児童公園と親水広場をつなぐ景観に配慮した歩道及び階段)を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)
	設計業務の完了		目標 () () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()
			実績			設計業務の完了	
	【参考指標】		目標 () () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()
			実績				
	進捗状況説明	令和3年度の整備着手に向け、令和2年度に実施設計を完了した。					

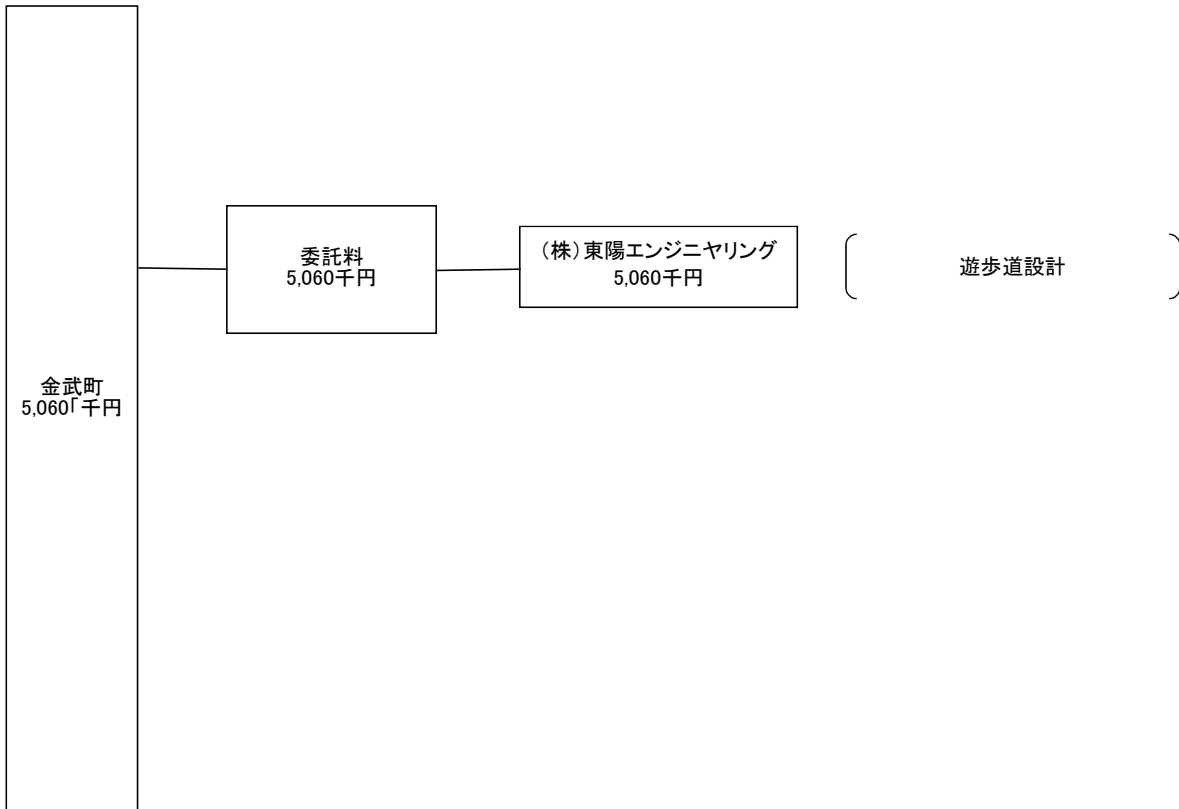
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	設計業務の詳細調査において、落石の危険性のある個所が判明した。	安全対策を講じ落石防護柵を設置した設計とした。

今後の取り組み方針

令和3年度に工事を実施する。
遊歩道完成後に大川児童公園と連携した施設として親水広場のイベント等を企画し利用者増を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
68,060	5,060	4,048	1,012	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札であり、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○見積りと基準書に基づいた積み上げとなっており、見積りについては精査し、適正であると判断した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○設計に係る直接人件費、直接経費に限定されており、必要なものであったと判断した。

市町村名		金武町										
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	2-① 金武町就職活動支援補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(10)-ア							
	担当部署名	商工観光課		事業実施(予定)年度 平成24~令和3年度		雇用機会の創出・拡大と求職者支援						
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-2						
事業内容		雇用の拡大を図るために就活支援センターを設置し、求職者への相談員による就業相談や、中小企業等に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。 また、将来の就労予定者である児童生徒に勤労観・職業観と、学校をはじめとする地域全体との連携を図りながら、雇用問題の解決や就業意識の向上を実施するための、キャリア教育を行う。										
効果発現年度		<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)										
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()										
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		
		(a) 当初予算額	39,670	31,135	30,000	34,335	30,792					
	(b) 予算現額	39,670	23,555	24,800	25,725	24,469						
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 7,580	▲ 5,200	▲ 8,610	▲ 6,323						
	(d) 繰越額											
	A. 計(b+d)	39,670	23,555	24,800	25,725	24,469						
	B. 執行済額	29,572	23,500	22,053	25,205	23,213						
	うち交付金充当額	23,572	18,799	17,642	20,163	18,570						
	次年度繰越額											
	執行率(%) (B/A)	74.5%	99.8%	88.9%	98.0%	94.9%						
予算の状況の説明		減額理由として新型コロナウイルスの影響により、実施出来なかった講座があったためである。										
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況									
			H29年度		H30年度		R1年度		R2年度			
	職業相談		目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)					
			実績	実施:402名	実施:325名	実施:308名	実施:306名					
	各種講座の開催		目標	(4講座)	(4講座)	(11講座)	(11講座)					
			実績	4講座	5講座	11講座	8講座					
	企業セミナー キャリア教育		目標	(6回・4校)	(2回・4回)	(2回・5回)	(2回・8回)					
		実績	6回・5校	2回・6回	2回・8回	2回・8回						
達成状況説明		・職業相談については、令和元年度より2名減り、306名に対して実施した。 ・各種講座と企業セミナーについては、町内求職者及び各種団体のニーズを確認しながら実施した。また新型コロナウイルスの影響により、3つの講座が実施出来なかった。 ・キャリア教育については、町内全校及び各種団体に対してニーズを確認しながら実施した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)		H30年度		R1年度		R2年度		目標値(年度)	
	就業率		目標	()	(10.70%)	(10.70%)	(10.80%)	()				
			実績		10.80%	7.50%	9.50%					
	キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()				
			実績		94.60%	95.90%	99%					
	【参考指標】 就業者目標数		目標	()	(10名)	()	(10名)	()				
		実績		24名		29名						
進捗状況説明		就業率については、企業へ求職者の斡旋等を実施したが、企業と求職者のマッチングがうまくいかず就職に至らなかったケースがあったため目標の数値に届かなかったが、今後は、しっかりマッチングができるよう相談・面談等を引き続き実施する。 キャリア教育については、各学校等と連携した結果、達成率99%であり、児童生徒が働くことへの関心が高まったと考えられる。										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、社会情勢が大きく変化してきている。雇用情勢についても、解雇等が増加してきており雇用拡大を図る必要が一層強くなっている。この状況を踏まえ、就職活動の支援を継続的に推進し、求職者の就職につながる実用性の高い講座の開設に取り組む必要がある。</p> <p>キャリア教育については、児童生徒が自らの将来を考える上で、働くことへの興味・関心、将来を計画的に取り組む態度を育成する必要がある。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、実用性の高い講座及び企業と求職者のマッチングがうまくいくように面接相談等を引き続き実施し、町内雇用の拡大に努める。</p> <p>また、キャリア教育についても、感染症対策を考慮しながら、児童生徒の学ぶ機会を損なわないよう実施していくとともに、児童生徒が町内従事者並びに新たな職業の可能性を探ることが、より一層大事であると考えられる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>新型コロナウイルス感染症による解雇等の相談が少しずつ増えてきていることから、就職に必要な資格取得のための各種講座を開催し、雇用機会の増大を図る。キャリア教育については、引き続き学校及び各種団体等と連携し、先進的・効果的な取り組みをすることで児童生徒が働くことへの興味・関心を促すことに繋げる。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,213	23,213	18,570	4,643	0
<pre> graph LR A[金武町 23,213千円] --> B[補助金 23,213千円] B --> C[金武町就活支援センター 23,213千円] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>				

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金等の適正化に関する条例及び団体補助金交付規則に基づき適正に選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルスの影響により、実施出来なかった講座もあったため不用額が発生したが、予算規模は適正と判断している。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度運営者との間で協議し、適正であると判断している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 小中学校学習等支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
	担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	町内の小中学校へ 外国人英語指導助手・日本人英語指導員・英語コーディネーターを配置し、外国語の音声や基本的な表現能力の育成として英語教育の充実を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,840	21,840	21,840	23,563	
		(b) 予算現額	21,840	21,840	21,840	24,832	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	1,269	
		(d) 繰越額	-				
	A. 計(b+d)		21,840	21,840	21,840	24,832	
	B. 執行済額		21,172	21,059	21,197	24,631	
	うち交付金充当額		16,937	19,847	16,957	19,704	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		96.9%	96.4%	97.1%	99.2%	
予算の状況の説明		・当初の計画どおりに事業が執行できたが、会計年度任用職員制度等により予算(費用弁償等)が増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	
	日本人英語指導員配置数	目標	(小学校:2人)	(小学校:2人)	(小学校:2人)	()	
		実績	小学校:2人	小学校:2人	小学校:2人		
	外国人英語指導助手配置数	目標	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	(小学校:2人 中学校:2人)	()	
		実績	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人	小学校:2人 中学校:2人		
	英語コーディネーター	目標	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	(教育委員会:1人)	()	
実績		教育委員会:1人	教育委員会:1人	教育委員会:1人			
達成状況説明	・町内小中学校に日本人英語指導員2人、外国人英語指導助手4人、英語コーディネーター1人、合計7人を配置し、外国語の発音や基礎的な表現能力の育成を図ることができた。また、児童・生徒とコミュニケーションをとりながら異文化に対する興味・関心を引き出すことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	(小学校) 児童英検(シルバー)において、全国平均との平均正答率の差(-4%以上)	目標	()	()	(平均正答率84.5%以上)	(平均正答率82.3%(全国))	()
		実績			80.3%	平均正答率76.3%(金武町)-6%	
	(中学校) 英語検定3級において、校内受検者数の合格率31.6%以上。	目標	()	(合格率-23.5%以上)	(合格率26%以上)	(合格率31.6%以上)	()
実績			合格率-23.5%以上	44.4%	21.1%		

進捗状況説明	<p>○町内小学校で行っている「英検Jr.検定」においては、正答率が76.3%となり目標であった平均正答率の差(-4%以上)に届かず未達成となった。しかしながら、小学校低学年を対象に行うBronzeのカテゴリーでは、正答率が83%となっており、ほぼ全国平均値に近い正答率となっている。</p> <p>○中学校において、英語検定3級の受検者数がR1の81名に対しR2は171人と倍以上となっているが、合格率はR1の44.4%から21.1%となり、倍以上の低下している。英語に興味を持つことや英語検定に対する認識は高まっているが、合格率が伸び悩んでいる。</p>
--------	---

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>【小学校】R2は、Silver(小学校中学年向け)の受検者数が減り、Gold(小学校高学年向け)の受検者数が増えている。年々上位のレベルに挑戦する児童が増えており、4年前と比較して英検Jr.受検者が増加していることから、日頃の英語活動で少しずつ英語を理解し、児童の英語に対する意識が高まったと考える。</p> <p>【中学生】受検者数の増加により合格率は低下している一方で、準2級の合格者が過去5年間で最高となっている。また、準1級の合格者も出るなど、より高い目標を持ち取り組む生徒が増えている。</p>	<p>【小学校】日頃の英語活動の授業で少しずつ英語を理解し、英語に対して積極的になっているといえる。今後は、子どもたちの意欲に応え、さらに英語力を伸ばすために、授業方法、教材、チームティーチングの改善、職員の英語運用力の向上などを高める工夫と努力が必要である。</p> <p>【中学校】過去と比較すると受検者数(R2が最も多いものの、合格率は過去最低の割合になっている。特に3級は受検者数が大幅に増えているのに対し、合格者数が低い結果となっている。生徒の意欲に応えるような指導法の工夫・改善が必要である。</p>

今後の取り組み方針
<p>英語コーディネーターを中心に授業の内容面の充実を図るため打ち合わせ時間の確保する。小学校においては、毎年度実施している海外移住者子弟等研修生が来日できていないため、対外的な交流が実施できていない状況があり、それに代わる外国人との交流の検討が必要である。中学校においては、カリキュラムを作成し体系的な英語学習へと繋げていけるよう英語教諭と連携を図る。また、指標として掲げている数値を達成できるよう、児童・生徒への検定への興味を促せるよう引き続き取り組む。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,631	24,631	19,704	4,927	0


```

graph LR
    A[金武町 24,631千円] --> B[報酬 21,178千円]
    A --> C[職員手当 2,983千円]
    A --> D[旅費(費用弁償) 470千円]
    B --> B1[中川小学校 1名 (日本人英語指導員 1名)]
    B --> B2[金武小学校 2名 (日本人英語指導員 1名, 外国人英語指導助手 1名)]
    B --> B3[嘉芸小学校 1名 (外国人英語指導助手 1名)]
    C --> C1[金武中学校 2名 (外国人英語指導助手 2名)]
    D --> D1[教育委員会 1名 (英語コーディネーター 1名)]
  
```

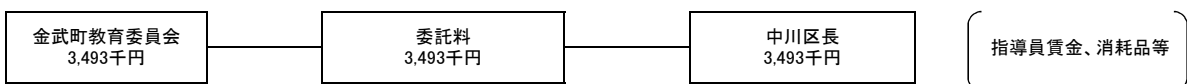
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。</p> <p>○予算規模については、ほぼ見込みどおりの執行額であり、事業内容に見合った適正な規模である。</p> <p>○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	幼稚園預かり保育事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア	
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	保護者の育児における負担の軽減を図るため、預かり保育を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,017	3,140	3,140	5,213	
		(b) 予算現額	12,017	3,157	3,140	5,213	
		(c) 増減額(b-a)	0	17	0	0	0
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	12,017	3,157	3,140	5,213	0
		B. 執行済額	10,659	3,147	2,517	3,493	
		うち交付金充当額	8,526	2,517	2,014	2,794	
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	88.7%	99.7%	80.2%	67.0%	#DIV/0!
予算の状況の説明	予定していた活動等が行えず、それに伴い活動費や需用費等の支出が減となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	預かり保育希望園児の受入	目標	()	(8人)	(8人)	(8人)	
		実績		6人	8人	9人	
	【参考指標】 預かり保育実施幼稚園:3園	目標	(3園)	()	()	()	
		実績	3園				
	【参考指標】 預かり保育嘱託職員配置数:6人	目標	(6人)	()	()	()	
実績		6人					
達成状況説明	支援員の確保については、予定どおり4人を確保できた。目標として入園予定人数8人の園児を受け入れを予定していたが、年度途中の転入園児も受け入れることが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)	
	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		90%	100%	100%	
	【参考指標】 預かり保育内容にかかる幼児教育の成果について保護者へのアンケートを実施目標:「子育て環境における満足度90%」以上	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	〇事業を実施することにより保護者の育児負担軽減の満足度が100%に近い数字となっている。また、園児の交流が幼稚園了後も図れるとあり交友関係でも保護者の安心感が満たされた事業となっている。今後も保護者や委託先との連携を取りながら保育の充実を図っていきたい。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○アンケートにおいて、目標以上の満足度を達成しており、保護者の育児における負担の軽減が図られていると考える。</p> <p>○預かり開始時期が幼稚園入園後となり、4/1日から入園式までの期間の保育について、保護者より保育希望があった。</p>	<p>○預かり開始の時期を、委託先や指導員と十分に確認を行い、今後、入園前に保育開始ができるよう取り組む必要がある。</p>
<p>○委託先である中川区と連携しながら、指導員の確保、勤務体制等の更なる充実に努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,493	3,493	2,794	699	0



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先、費目・用途については、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模において、事業内容に見合った適正な規模である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 特別支援教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進						
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)	
事業内容	町内各小中学校において支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、学級担任と連携して適切な特別支援教育を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	58,081	38,053	36,050	34,757	
		(b) 予算現額	58,070	31,108	36,050	32,057	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 11	▲ 6,945	0	▲ 2,700	0
		(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)		58,070	31,108	36,050	32,057	0
	B. 執行済額		45,692	31,108	31,151	30,991	
	うち交付金充当額		36,553	24,886	24,920	24,792	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		78.7%	100.0%	86.4%	96.7%	#DIV/0!
予算の状況の説明		・当初予定であった16名を配置し、予算執行した。不用額については欠勤による減額分が主なものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R2年度	
	特別支援教育支援員配置数 幼稚園:1人 小学校:11人 中学校:4人		目標 (小学校13人 中学校5人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	()	
			実績 (小学校13人 中学校5人)	(幼稚園1人 小学校11人 中学校4人)	(小学校12人 中学校4人)		
達成状況説明	・当初、町内幼稚園(中川幼稚園)に1人の支援員を配置する予定であったが、支援を必要とする幼児がいなかったために配置しなかった。小学校に医療的ケアの必要な児童がいたため12人を配置、中学校に4人、計16人の支援員を配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	対象となる幼児・児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員を配置したことにより学校生活や学習上の困難が改善されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	86%	81%	85%	
	【参考指標】 学校評価における、特別支援教育に関する項目について、目標「支援を要する幼児児童生徒に対し、適切な支援が行われていると感じる」評価3以上(4段階評価)		目標 ()	(3以上)	()	()	()
		実績	3.5%				
進捗状況説明	町内各小学校において必要に応じ特別支援教育支援員を配置しすることができた。保護者へのアンケートでは、86%が学校生活や学習上の困難が改善されたと回答があり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○支援員が取り組む内容について、ほとんどの保護者が理解を示していた。</p> <p>○保護者の満足度が低下したため【H30年度のアンケート結果(86%)からR1年度のアンケート結果(81%)】改めて保護者、学校現場、推進員、支援員を交えて支援の内容などについて協議の場を設けた。</p>	<p>○委員会配属の「特別支援教育推進員」を中心に常時担任や保護者が密に連携をとり、支援員の仕事の内容を改めて保護者に理解も求めることが必要である。また、支援員の確保が課題となっているが、配置できる人数も限られているので、いかに寄り添ったサポートができるよう教育委員会、学校、保護者で協議していく。</p>

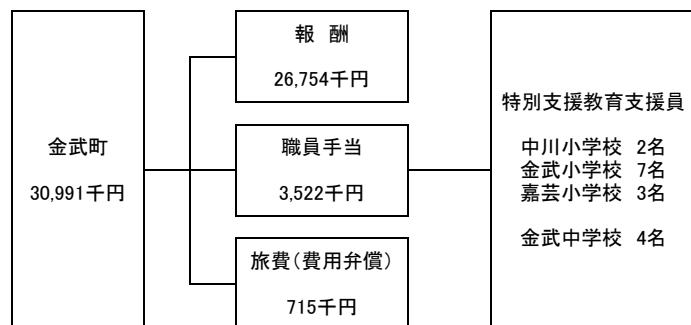
今後の取り組み方針

・支援員についての活動内容をもっと保護者にわかりやすい形で周知するとともに、支援員の質の向上の為に研修等を積極的に行っていく。また、対象児童・生徒の背景を理解しつつ、保護者と学校現場が密に連携が図れるよう、推進員を中心に丁寧なサポートを心がける。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
30,991	30,991	24,792	6,199	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 検証 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先、費目・使途については、金武町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等に基づき支援員の任用、報酬の支出をしており、妥当なものと考えている。</p> <p>○予算規模については、支援を必要とする幼児・児童・生徒数から鑑みて、事業内容に見合った適正な規模である。</p> <p>○費目、使途については積算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものだった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④ デジタル教科書購入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進					
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度 平成28～令和3年度 沖縄振興基本方針該当箇所 III-3-(1)					
事業内容	令和2年度の教科書改訂に伴い、学習環境を整備し児童学習意欲の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		4,780				
			4,730				
			▲ 50				
			—				
			4,730				
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率 (%) (B/A)		4,730				
			3,784				
			100.0%				
	予算の状況の説明	○指名競争入札により、適正に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	デジタル教科書整備 小学校:27本	目標 (デジタル教科書整備 27本) () () () ()					
	実績 (デジタル教科書整備 27本) () () () ()						
達成状況説明	○町内3小学校へデジタル教科書(27本:国語、算数、理科、社会、英語)を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	学校評価における児童生徒の評価で、授業の楽しさやわかりやすさについての評価項目で「評価3以上」(4段階評価)	目標	() () () () ()	() () () () ()	() () () () ()	() () () () ()	
		実績		3.4			
		目標	() () () () ()	() () () () ()	() () () () ()	() () () () ()	
		実績					
	進捗状況説明	・デジタル教科書を整備したことにより、電子黒板と連動し授業が実施できた。 ・児童生徒に「授業の楽しさやわかりやすさについて」のアンケートをとり(4段階評価)、3.4の評価があり成果として達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○電子黒板と連動しデジタル教科書の活用することは、円滑な授業を進行に欠かせないものとなっている。</p> <p>○デジタル教科書の活用法については、授業においてより良い活用方法を教諭同士で意見交換することが重要である。</p>	<p>○R2年度に国のGIGAスクール構想に基づき整備された、1人1台の端末との連動性に向けて、改善・工夫が必要である。</p>

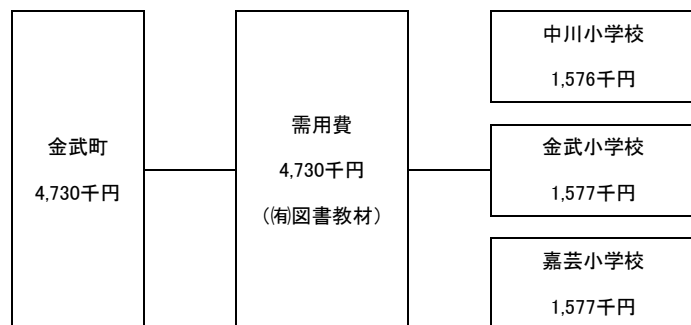
今後の取り組み方針

○R2年度に国のGIGAスクール構想に基づき整備された、1人1台の端末との連動性に向けて、教育委員会と教育現場がどのような取り組みができるかを協議し、導入したデジタル教科書と連動できるソフトの採用や教諭への研修などより良い授業の環境を整えていく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,730	4,730	3,784	946	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○指名競争入札において業者を選定し、適正に入札が執行された。</p> <p>○不用額がほとんど発生しなかった。</p> <p>○事業目的達成のため必要なものに限定し適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	金武町
------	-----

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑥ 演奏活動推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア 地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度 令和2~3年度	沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-3-(1)

事業内容
演奏活動を通して地域活動に児童・生徒が積極的に参加できるよう、中学校へ吹奏楽器を整備し、地域行事に参加することで世代間交流を通じた地域活性化及び郷土愛を醸成する。

効果発現年度
 当年度 後年度(R4年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	13,766				
	(b) 予算現額	10,549				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,217				
	(d) 繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	10,549				
	B. 執行済額	10,549				
	うち交付金充当額	8,439				
	次年度繰越額					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	○指名競争入札により、適正に執行した。減額の理由については、入札残である。				

活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		楽器の整備 14品種 28個	目標	(楽器の整備 14品種 28個)	()	()
	実績	(楽器の整備 14品種 28個)	()	()	()	
達成状況説明	○金武中学校吹奏楽部に14品種28個(トランペット、トロンボーン、チューバなど)の楽器を購入し整備した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
		金武中学校に楽器を整備	()	(中学校に楽器を整備)	()	()	()
				整備完了			
		①生徒が演奏活動を行った地域行事等への総来場者数7,000人以上 ②楽器整備後に地域行事で演奏活動をしたことにより、地域への関心が高まった割合(80%以上)を含め、児童・生徒へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	○R2年度の中学校吹奏楽部への購入に加え、R3年度は金武小学校吹奏楽部に整備する。						

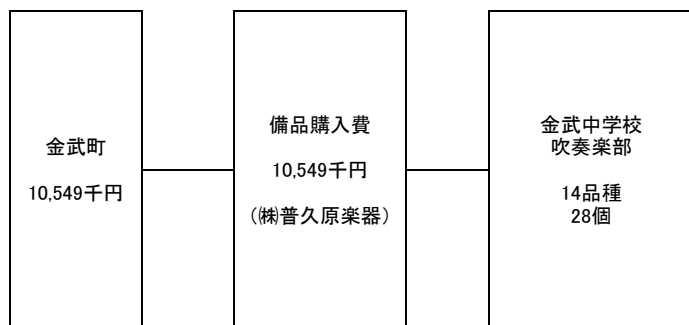
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○R2年度に小学校吹奏楽部へ楽器を購入し整備したが、新型コロナウイルス感染拡大により、地域活動への参加ができない状況である。	○新型コロナウイルス感染症の影響が収まった後の吹奏楽部の活動状況を把握する必要がある。

今後の取り組み方針

○世代間交流に向けて、地域の老人ホームやデイサービスでの慰問、地域の催しや金武町まつりなどに積極的に参加する。また、小学校の吹奏楽部との交流を実施し後進の育成にも積極的に取り組む。
 ○新型コロナウイルス感染症の影響が続く場合、成果目標をコンクールでの成績など見直すことを検討する余地がある。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,549	10,549	8,439	2,110	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札において業者を選定し、適正に入札が執行された。 ○不用額がほとんど発生しなかった。 ○事業目的達成のため必要なものに限定し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		金武町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 金武町移民の日記念事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア		
担当部署名	企画課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 Ⅲ-7	
事業内容	<p>沖縄移民の先駆者である「當山久三」の生涯と時代背景、現代への繋がりを辿るドキュメント番組の制作、令和2年2月に、本町とハワイ州ホノルル市と友好都市を締結した事を記念した石碑の建立、當山久三銅像周辺装飾等の製作業務を実施した。(業務委託)</p> <p>また、12月5日の「金武町移民の日」に、第1回移民団を送り出した本町出身の當山久三の偉業をたたえる顕彰式と、上記ホノルル市友好都市締結記念石碑除幕式を実施した。また、12月1日～12月10日の期間、移民関連資料・友好都市協定関連・金武町青年海外派遣事業に関するパネル展を実施。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年実施していた記念公演イベントについては中止とした。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額		1,472	9,142	3,548	11,196
	(b) 予算現額		2,755	5,924	3,548	9,150	
	(c) 増減額(b-a)	0	1,283	▲ 3,218	0	▲ 2,046	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	0	2,755	5,924	3,548	9,150	
	B. 執行済額		2,338	5,924	2,702	9,182	
	うち交付金充当額		1,870	4,738	2,101	7,345	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	84.9%	100.0%	76.2%	100.3%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの感染拡大を受け、記念公演イベント中止による減額が発生した。(委託料)						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施	目標	()	()	()	()	
		実績		・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施	・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施	・顕彰式の実施 ・移民関連の学習会 ・公演等の実施	
	【参考指標】 移民の日関連の学習会・講演等の実施	目標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)	
実績		1回	1回	1回	なし		
達成状況説明	<p>当初計画通りの日程で、顕彰式並びにホノルル市友好都市協定締結記念石碑除幕式を実施。</p> <p>記念公演については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から記念公演は中止とした。</p> <p>移民関連の学習会については、本町と同様に海外移住者子弟等研修生を受け入れている市町村と連携して実施しているものである為、新型コロナウイルス感染拡大による事業中止に伴い、学習会も中止となった。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	○参加者に対するアンケートで、移民の歴史に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		100%	94.30%		
	移民の日関連事業参加者数:550人	目標	()	()	(550人)	(550人)	()
		実績			561人	50人	
進捗状況説明	<p>記念公演が中止となった為、参加者アンケートが実施出来なかった。</p> <p>参加人数は顕彰式並びにホノルル市友好都市協定締結記念石碑除幕式への参加者人数を実績とした。</p>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・本事業を継続実施した中で、記念公演会の内容が定番化しつつある為、実施内容の見直し等を検討したい。</p> <p>また、「国際感覚豊かな人材育成」の観点から、公演内容だけでなく実施する時間帯についても、調整検討していく。</p>	<p>・本事業は、移民の歴史について広く周知する事を目的とし、更には国際的視野を持つ人材育成に繋げていく必要がある。</p>

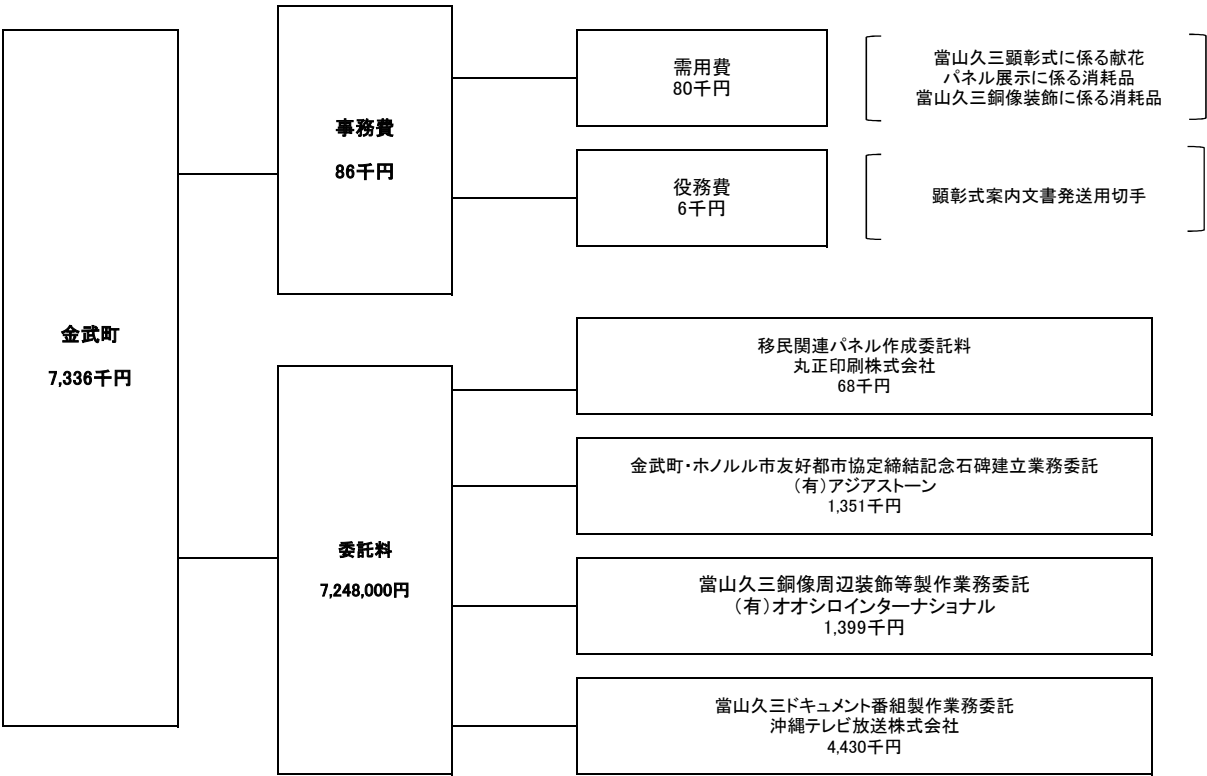
今後の取り組み方針

・新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、記念公演イベントの実施の可否、実施内容変更の検討を行いたい。

・移民の歴史についてわかりやすくまとめ、町と他の国々との繋がりなどを町内各学校と連携し、より多くの学生に参加・学習して頂ける様取り組んでいきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
9,182	9,171	7,336	1,835	10



資金の流 用途の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>●委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>●費目、用途については精算段階で検査しており、目的に即し必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	